特集 決算等審査特別委員会

平成十一年度一般会計・三浦 良委 員長
特別会計・企業会計決算 登坂 訟 副委員長

■本委員会は議会選出の監査委員を除く全員の議員六十二名で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・款ごとに一問一答形式の質疑を行います。委員会は九月十八日から十一日間開催され、延七十五人の委員が二千二百九十七分にわたり審査を行いました。以下主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

みらい仙台

都湖 健一委員

問 (仮称)松森工場の排ガス中のダイオキシン類濃度の目標値及び市道東仙台泉線の整備目標について伺いたい。

答 目標値は十分達成可能との報告があり、プラントメーカーに責任を求める保証値としている。指摘の市道の四車線化については、鶴が丘団地入口から城前大橋までが十六年度、仙台バイパスより鶴が谷団地までが十五年度に完成予定である。

・積極的な情報公開を
・県道泉塩釜線の整備を
・事業推進への市長の決意

鈴木勇治委員(主な質疑項目)
○保育所の設置運営法人選定方法、保育料未納と納入促進策
○生出秋保地区の初期救急診療体制の充実整備について
○デイサービスの空白地区解消と整備方策について
○居宅介護支援事業者の評価とチェック体制について
○林道西向中林線の中止に伴う既存市道の整備等附帯事業の進捗状況について
○百年の杜づくりにおける森林管理の認識について
○林業の振興と間伐材の活用方策について

鈴木 繁雄委員

問 青葉通のケヤキについてその現況把握と認識、維持管理の一元化、東二番丁通から晩翠通にかけての衰退木集中及び更新するケヤキ保全のための調査について市長の考え方を伺いたい。

答 杜の都のシンボルであるケヤキ並木であるので、指摘の点につき、さまざまな面から総合的原因調査を徹底し、植え替えの後継樹の問題等も含め、この区間だけでなくケヤキ並木全体の総合的対策を講じたい。

衰退木が集中する青葉通のケヤキ

田中芳久委員(主な質疑項目)
○行政各局の情報化の実績と今後の取り組みについて
○IT革命に対応した女性センターの構築について
○DV対策の現況と啓発
○男女共同参画課の役割
○メディアテークのプレイベントと開館記念事業
○若いアーティストのためのメディアテークの役割
○仙台市の歴史教育とアイデンティティ
○救急医療体制について
○看護婦のメンタルヘルス
○MRI・CTの待機状況

渡辺 博 委員(主な質疑項目)
○本市公共下水道計画一〇〇%達成への努力と計画区域の拡大
○合流式下水道の改善を
○浸水被害の原因とその被害防止策。特に緊急対応体制と都心地下部の被害軽減策
○本市下水道公社の充実
○本市の文化財行政について
○日本でも有数の山田上の台遺跡の有効利用と本市における文化財の調査・研究・保存・活用のあり方について
○仙台城址の保存と活用及び国史跡指定への努力について

西澤 啓文委員

問 消防団員等公務災害補償制度の更なる充実のため、福祉共済制度への公費負担及び補償基礎額のかさ上げを

答 さらに国に改善を働きかけるとともに、市としても改善に向け取り組みたい。

問 鶴谷養護学校の狭隘は望ましい教育活動を阻害しているので早急にその解決策を

答 現在の敷地を有効に活用した再整備の基本計画を策定中であり、早期に教育環境の改善を図りたい。

庄司俊充委員(主な質疑項目)
地域循環型農業について

問 処理施設の建設予定地及び管理運営主体と市の支援は?

答 本市の西部地域が適地であり、農協・畜産農家等で組合を組織し、建設から管理運営を行うのが適当であるが、今後協議会で検討したい。「循環型農業の仕組みづくり」等ソフトの支援をはじめ、ハード面も支援措置を検討したい。

・家畜排泄物及び生ごみの量と法規制、その対象農家は?
・課題解決への市の取り組み

公明党

会計・款別主な質疑項目

●公営企業会計
バス事業の経営内容、維持管理時代の水道事業のあり方、高金利債の借り換え、ガス事業熱量変更作業費の圧縮策等公営企業の健全化について

答 バス事業については、一層の経営努力と市民の理解を前提に経営努力を継続する。

●総務費・市民費
○仙台市人材育成計画に基づく職員研修のあり方について
○職員研修に取り組む市長・助役の責務と決意について
○外郭団体の情報公開の推進について
○二十一世紀に向う仙台市の新たな都市目標の設定について
○不登校、ひきこもり青少年のための「ふれあい広場」の拡充について
○ヤングテレフォン相談の二十四時間、フリーダイヤル化の実績について
○窓口行政サービスに対する市民の直接評価と改善向上について伺いたい。

答 大事な問題なので、継続的に力を入れて取り組む。

●健康福祉費
○高齢者世帯に貸し出している緊急通報システムの周知と活用の推進について
○緊急通報システムの利用申請における協力員がいない場合の対応について
○乳幼児医療助成は県内他町で拡大しており、本市における積極的な対応について

●環境費・経済費
○産業廃棄物中間処理焼却事業者のダイオキシン対策の現状と今後の諸問題について
○違法処理解消策と処理実態の掌握策について
○艮櫓の建設について

●土木費
分譲マンション対策について
・専門相談員による相談窓口の早期設置と実態調査の実施について
・知識・情報の提供について

問 来年度、専門相談員を含めた相談体制の強化を図る。また、実態調査にも着手する。

答

1歳6か月児健康審査

●教育費
○いじめの問題解決の取り組みについて
○精神的負担の大きい教職員に対するメンタルケアーの実施について
○朝の読書運動の推進について

日本共産党

山脇武治委員

問 仙台城跡は全体の史跡指定をめざし、一期から三期までの石垣を保存し、生かされる計画とすべきだ。三期石垣の上に艮櫓を再建することは貴重な石垣を破壊することにならないか。

答 部分指定も含む文化財指定の打診をし、本質的価値を損なわない施工は可能と考える。

花木則彰委員

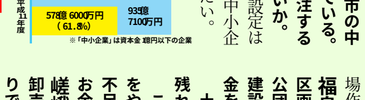
問 虹の杜団地開発計画は資金面で心配。勤住協は以前にマンション建設を途中で破綻させたが今回もその危険性があることを認識しているのか。開発許可をすべきでないのではないか。

答 指摘の危険性については、法の範疇外でコメントできない。審査は厳正に行っていく。

正木満之委員

問 市の中小企業への発注が減っている。七十五から八十%を発注する目標を持つべきではないか。

答 具体的数値目標の設定は困難であるが、極力地元中小企業への発注割合を高めたい。



古久保和子委員

問 ごみ減量のため、紙類は集団資源回収だけでなく拠点回収を広げるべきだ。生ごみからできる堆肥の活用問題を解決すべきだ。

答 紙類の拠点回収は本年度二十ケ所を予定している。市民が堆肥を有効活用できる場作り等を検討し実施したい。

福島一恵委員

問 長町の土地区画整理事業は、施行者都市公団の四億円もの事務所ビル建設など、議会にも知らせず借金を重ねて事業を進めている。土地が売れず多額の借金が残れば市も責任を問われる。こんなリスクの大きい事業をやめ、入居倍率が十三倍と不足している市営住宅建設にお金をまわすべきである。

嵯峨サダ子委員

問 中央卸売市場では、大型店の先取りで、小売専門店の良質商品の確保が困難と聞くがいかがか。

答 大型店の先取りは、中小の小売業者も含め供給が十分確保された場合行っている。

○来年の仙台初売りは、開府四百年記念として、これまで以上に仙台の伝統を守れるように特段の努力をすべきだ。

民主フォーラム

池田友信委員

○水害浸水対策について、全庁的な『対策委員会』の設置の遅れを指摘、流出上流地域に雨水調整池を設置し対策に早急に着手すべき。
○今後粗大ごみの有料化によるごみ不法投棄が懸念される。重点地域地図を作成し地域巡視制度を実施すべき。

木村勝好委員

問 艮櫓と石垣の復元に関し、史実とは何か、国の史跡指定の可能性、市長の決断の方向性などを伺いたい。

答 二期の上、三期の上、造らないの三つの方法で決断する。

○バス事業の一層の効率化と資産活用、新たな健全化計画の策定、敬老乗車証の今後のあり方などについて。
○消防車への救命装置の積載
○災害時の放送協定を結んでいるミニFM局等との連携
○災害時に避難所となる市立小・中学校のパソコン等の情報通信機器の有効活用

日下富士夫委員

問 現在凍結中の女性センターは民間活力の導入を検討すべきでは。財団の設立準備はどうなっているのか。

宮城野区で行われた防災訓練

佐藤わか子委員

答 PFI等民間活力の導入など効果的手法を探る。

○ごみ減量に対する市民の意識向上のため、努力しただけのメリットが実感できる施策を考える時期では。
○青葉の森の職員体制を見直し、もっと活用したらどうか。木製遊具が腐ってきているが、今後どうするのか。

村上一彦委員

○交通局に平成十一年度は四十五億円の補助があったが、独立採算制を前提にし、職員の接遇、給料体系等抜本的な改革が必要と思うが、今後の方針について伺う。
○地区集会所建設費補助金の不正受給があった。今後の対策と補助金交付要綱の見直しについて伺う。

安孫子雅浩委員

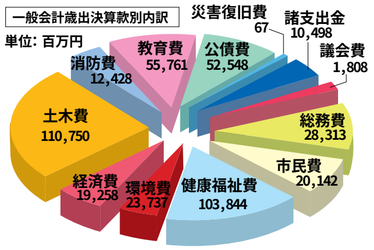
○地域ケア体制の拠点として整備する在宅介護支援センターの運営と監査について
○基幹型ケアマネージャーの設置と指導研修について
○W杯キャンプ地誘致パンフの扱いと庁内対応について
○W杯ホスト都市仙台の市民組織づくりと警備体制は。
○チケット販売の周知徹底を。

岡本章子委員

問 コミセンをもっと開放的に。市公共施設利用方法にITを活用し、より便利に。

答 市民の利便性向上の観点から、システムの見直し等につき、今後検討していく。

○保育ママの目標数確保に向け、制度やPR方法等にもっとアイディアを。
○日常的な地域・ボランティア等の協力を最大限活用し、実践に即した防災活動マニュアル及び体制の整備を。
○災害復旧費 67
○諸支出金 10,498
○議会費 1,808
○総務費 28,313
○市民費 20,142
○健康福祉費 103,844
○環境費 23,737
○経済費 19,258
○土木費 110,750
○消防費 12,428
○教育費 55,761
○公債費 52,548



平成11年度一般会計決算収支の状況

		単位；千円
予算現額		478,955,920
歳入決算額	A	448,903,956
歳出決算額	B	439,152,422
歳入歳出差引額	C=A-B	9,751,534
翌年度へ繰り越すべき財源	D	7,971,193
実質収支額	E=C-D	1,780,341

自由民主党・市民会議

小池 純夫委員

問 開府四百年記念事業について長崎・オランダ四百年記念事業では、百億円の波及効果を見ているが、仙台では波及効果をどの程度に考え、それをどう増やそうと考えているのか伺う。

答 この事業により仮に観光客が一パーセント増えると十五億円の効果が期待できるが、商工会議所等を通じての開府四百年の宣伝に今後とも努めていきたい。

問 コンパクトシティについてコンパクトシティに向けた施策体系としての各種事業の取り組みについて伺う。

答 交通環境面ではアクセス三十分構想や東西線整備の推進、市街地形成面では中心市街地活性化事業の推進など、総合的な施策の展開により持続的に取り組んでいきたい。

大内 久雄委員

問 海岸公園について海岸公園内にある馬術競技場から県道塩釜亘理線に通じる道路の交差点改良工事の進捗状況を伺う。また、この交差点に信号機を設置すべきと考えるが、いかがか。

答 交差点改良工事は今年度中に工事を完了する予定である。また、信号機の設置は困難との公安委員会の判断はあるが、今後とも信号機設置を要望していきたい。

問 宮沢根白石線について地区関係者への説明が遅れた理由、及び今後の都市計画道路の取り組みを伺う。

答 厳しい財政状況から、舟丁区間の事業計画を見直したが、時間的制約などにより議会説明が先になった。今後は、事業の透明性を高めるよう、PRに努めていきたい。

大泉 鉄之助委員
財政運営に関する市長の決意

問 本市税収の確保は、ひとえに本市経済力の醸成にかかっており、その中で、歳入の道筋を付け、歳出の無駄を無くす努力が必要である。来世紀に、今世紀のツケだけを残さないように、という観点から、財政運営に関する市長の決意を伺いたい。

答 本市財政の健全化に向けて、取組方針を定めているが、大事なことは、この方針を行動に移すことである。職員一人一人が知恵を絞り、工夫を重ねながら、節減と増収を重ねることが大切であり、将来の世代に対して過度の負担を残さないよう、適切な財政運営に一層努力するとともに、全庁一丸となった取り組みを更に進めていきたい。

社民党市議団

艮櫓建設にあたって慎重な対応を

今回発見された一期、二期の石垣の文化財的価値について質し、「石垣技術の変遷解明のうえで極めて貴重」という答弁がありました。艮櫓の三期目の石垣上の建設は、貴重な一期、二期の石垣を破壊する恐れがある。従って、艮櫓の整備にあたっては、史跡指定も視野に入れながら、延期することも含め、慎重に検討することを求めました。

児童虐待防止に対策と環境整備を

「児童虐待防止法」の成立を踏まえて、児童相談所の職員の大幅な増員と専門チームの結成、一時保護所の生活環境の改善とケア体制の充実、再発防止のために虐待者へのケアと家族の再統合への支援の確立を求めました。児童虐待防止対策について質し、「今年度内に児童虐待ネットワーク会議において、対応マニュアルの策定を図る。」との答弁がありました。

修復が進む仙台城石垣

その他取り上げた項目
○バス事業でモニター制や主幹配置等の見直しと、定時運行、確実性の確保を
○ガス事業収支計画の見直しと、LNG売却事業及びLNG減量不足への対応策
○視覚障害者の養護老人ホーム設置等援護施策の充実を
○休日夜間診療の地域ニーズ把握と行政主導による体制の充実、東部地区の拡充
○高い幼児の虫歯り患率への対策と歯科保健体制の拡充
○家庭用電気式生ごみ処理機購入補助金の拡充について
○都市計画街路事業の見直しに際し、住民意見の反映と財源確保の見直しについて
○JR国見駅の拡張を含む構造と周辺交通環境の改善
○JR落合駅の駅前広場の整備と跨線橋設置の見通し
○仙石線の高架化の調査結果と高架化、複線化の可能性
○メディアテークの利用しやすいシステム、開館時間の延長、専門的な人材の配置

グローバルネット仙台

柿沼 敏万 委員

問 市民への「説明責任」ということをどのように認識しているのか。市民と協働するという市政の上からも「説明」の重要さが今問われていると思うが。

答 ご指摘の点について、市民と議会の市政運営との方針で努力してきたが、今後、説明すべき手法や時期等に十分配慮し、積極的対応に取り組む。

野田 譲 委員

問 国際姉妹・友好都市提携において、カステルガンドルフォ市との交流の実現に向けてどう考えているのか。

答 若い世代を含めた幅広い市民が参加し、交流が深まるよう支援していきたい。

問 若い音楽家のザルツブルグモーツァルテウム音楽大学への留学支援について

答 若い優れた音楽家に対してそのような機会を作りたい。

高橋 次男 委員

問 「防災都市仙台」確立のため消防ヘリ二機体制を

○東海集中豪雨を教訓に
・建設省の洪水氾濫シュミレーションをどう活かすか
・堤防保全のための水防訓練、資材等の現況はこれでよいのか
・万が一堤防が決壊したときの幼児、高齢者等の救命活動への備えは不十分である

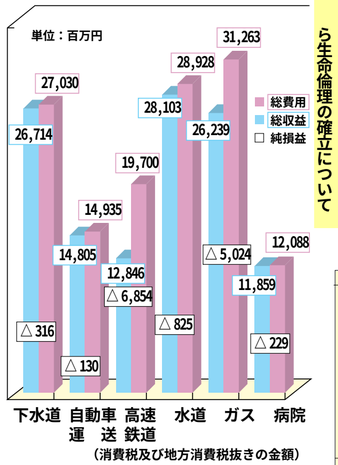
岡部 恒司 委員

○ピンクチラシ対策強化を
・県条例や国への取り組みを早急にすべき
・仙台市ピンクチラシ対策本部設置を提案
・貼り紙防止塗装の活用を
・防犯カメラ設置に支援を

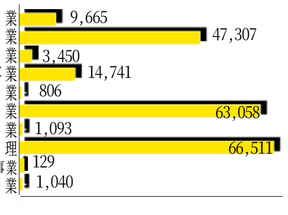
○エイズ予防対策について
・啓発活動の強化をすべき
・エイズ、性教育の充実を
・エイズバッジの着用を
・エイズ対策課の設置を提案

加藤 栄一 委員

○医食同源の考えが浸透し、自分で健康管理する時代、市民の高齢化が進む中、市立病院の健康維持対策について
○高度、特殊医療で医療水準の向上に取り組まれているが、医療機器の経費増大について
○終末期医療費の適正化が問われているが、人のとるべき道であり実践である医の倫理から生命倫理の確立について



平成11年度特別会計決算の収支状況 単位；千円

会計名	歳入	歳出	差引額
都市開発事業	10,646,989	9,665,087	981,902
国保事業	47,346,938	47,307,106	39,832
中央卸売市場事業	3,450,823	3,449,848	975
公共用地取得事業	14,742,336	14,741,441	896
駐車場事業	805,638	805,638	0
老人保健事業	63,160,972	63,057,794	103,178
農業集落排水事業	1,107,905	1,092,999	14,907
公債管理	66,510,819	66,510,819	0
母子寡婦福祉資金貸付事業	153,024	129,436	23,588
新墓園事業	1,040,317	1,040,317	0
特別会計合計	208,965,762	207,800,484	1,165,277

平成11年度特別会計歳出決算 単位；百万円